

令和2年度

# 予算に関する説明資料

(一般会計補正予算第8号 新型コロナウイルス対策分)

北海道 上川郡 清水町

令和2年度清水町一般会計補正予算第8号 事業一覧【新型コロナウイルス対策分】

款	事業名	今回補正額	財源内訳				総事業費	地方創生臨時交付金充当金額	事業内容	
			国庫支出金	地方創生臨時交付金	道支出金	町債				
1	総務費	オンライン会議用機器等整備事業	1,048		683			1,048	683	【別紙シート01のとおり】
2	総務費	高速通信網整備事業（補助対象分）	535,474		214,188		321,200	535,474	214,188	【別紙シート02・03のとおり】
3	総務費	高速通信網整備事業（補助対象外分）	128,371		128,371			128,371	128,371	【別紙シート02・03のとおり】
4	民生費	新型コロナウイルス感染拡大に伴う子育て世帯支援事業	6,800		6,000			6,800	6,000	【別紙シート04のとおり】
5	民生費	保育施設給食調理室衛生対策事業	240					240		【別紙シート05のとおり】
6	衛生費	インフルエンザ予防接種事業	9,564		5,000			15,524	5,000	【別紙シート06のとおり】
7	衛生費	新型コロナウイルス感染症対策福祉・医療施設等従事者慰労金支給事業	14,000		14,000			14,000	14,000	【別紙シート07のとおり】
8	商工費	追加 中小企業緊急支援事業	11		32,000			60,022	32,000	【別紙シート08のとおり】
9	商工費	追加 中小企業近代化資金特例貸付事業	4,800		20,000			21,200	20,000	【別紙シート09のとおり】
10	商工費	清水町中小企業特別利子等補助事業	4,000					4,000		【別紙シート10のとおり】
11	商工費	追加 地域活性化商品券事業（新型コロナウイルス経済対策分）	24,000		59,000	10,000		69,537	59,000	【別紙シート11のとおり】
12	商工費	清水町小規模事業者感染症予防対策給付事業	2,050					2,050		【別紙シート12のとおり】
13	教育費	小中学校モバイルWi-Fi端末貸出事業	473					473		【別紙シート13のとおり】
14	教育費	追加 学校再開に伴う感染症対策・学習保障に係る支援事業	4,924	4,611				9,224		【別紙シート14のとおり】
15	教育費	中央公民館会議用機器等整備事業	1,199					1,199		【別紙シート15のとおり】
16	教育費	学校給食センター衛生対策事業	7,921		7,000			7,921	7,000	【別紙シート16のとおり】
17	衛生費	感染症対策用物品確保事業			5,000			6,874	5,000	交付金財源のみの補正
18	衛生費	清水町福祉・医療施設等感染症拡大防止支援事業			2,300			2,500	2,300	交付金財源のみの補正
19	教育費	小中学校学校情報機器整備事業			62,000			82,829	62,000	交付金財源のみの補正
20		各公共施設感染症拡大防止用備品購入事業			13,000			18,281	13,000	交付金財源のみの補正

事業シート (概要説明書)

事業名	オンライン会議用機器等整備事業	事業開始年度	令和2年度		
予算事業名	庁内情報化推進事業	担当課名	総務課		
総合計画事業名		担当係名	行政管理係		
総合計画基本構想		作成責任者	尾田和哉		
実施の背景	新型コロナウイルス対策により、会議の開催が難しくなっている中、オンラインによる会議をする機会が増加している。町主催の会議についても一部ですでに実施しているが、オンライン会議に対応できるのはノートパソコン程度しかなく、大人数での会議には対応が難しい現状にある。				
目的 (何をどうしたいのか)	大人数に対応しスムーズな会議を行うため、毎回設置の必要なプロジェクタではなく、移動のできるスタンド付き大型テレビを2台導入するほか、web会議用スピーカーマイク2台、webカメラ2台、ズーム搭載会議用リモコンカメラ1台を整備する。また、マイク(ワイヤレス2本、有線2本)、ミキサー1台、モニタースピーカ2台も整備し、会議の形態に合わせて音声の明瞭な会議の進行を図る。オンライン会議のシステムは「ZOOM」を2ライセンス契約し、会議が重なった場合にも対応できるようにする。パソコン端末については、今年度事務用端末更新があるため、旧機種を流用し使用する。会議に対応できる部屋を増やすため役場3階委員会室へLAN配線、無線アクセスポイントの増設を行う。				
事業概要	対象 (誰・何を対象に)	会議参加者	対象者数(全住民に対する割合) 9,320 人 ( 100 % )		
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 (委託先: ) <input type="checkbox"/> 補助金〔直接・間接〕(補助先: 実施主体: ) <input type="checkbox"/> 貸付(貸付先: ) <input type="checkbox"/> その他( )			
		事業内容 (手段、手法など)	事業内容(箇条書き)	事業費	
			オンライン会議システム接続料	64 千円	
			無線アクセスポイント整備業務委託料	312 千円	
オンライン会議用機器	672 千円				
関連事業 (同一目的事業等)					
コスト	事業費	3年度以降(計画)	2年度(予算)	元年度決算	
		事業費合計	64 千円	1,048 千円	千円
		事業費内訳 (2年度分)	<ul style="list-style-type: none"> <li>オンライン会議システム接続料 ZOOM契約(64千円)</li> <li>無線アクセスポイント整備業務委託料 役場3階LAN配線無線アクセスポイント増設(312千円)</li> <li>オンライン会議用機器 大型テレビ2台(330千円)、会議用スピーカーマイク2台(145千円)、webカメラ2台(20千円)、ズーム搭載会議用リモコンカメラ1台(69千円)、モニタースピーカ2台(40千円)、ワイヤレスマイク2本(30千円)、有線マイク2本(10千円)、ミキサー1台(28千円)</li> </ul>		
財源 内訳	国道支出金	千円	683 千円	千円	
	国道支出金の内容		新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金		
	地方債	千円	千円	千円	
	その他特財	千円	千円	千円	
	その他特財の内容				
一般財源	64 千円	365 千円	千円	千円	
財源合計	64 千円	1,048 千円	千円	千円	

事業シート (概要説明書)

事業名	高速通信網整備事業	事業開始年度	令和2年度	
予算事業名	地域情報化推進事業	担当課名	総務課	
総合計画事業名		担当係名	行政管理係	
総合計画基本構想		作成責任者	鈴木 聡	
実施の背景	町内の光ファイバー整備率は、82.06%となっており、H19年9月に清水市街及びH24年10月に御影市街の一部で供用開始されたが、農村地区においては未整備で、大容量通信などできない通信環境となっている。また、今般の新型コロナウイルス感染症対策として、オンライン授業などICTを活用する新しい生活様式を取り入れるための環境整備が必要となっている。			
目的 (何をどうしたいのか)	町内の光ファイバー整備率100%を目標に、電気通信事業者が行う設備整備の支援を行うことにより町内全域に光ファイバーを整備し、町民すべてが大容量通信などが利用できる通信環境を整える。また、スマート農業の推進や自然環境を生かした農村地区への移住促進、新しい生活様式を取り入れた生活・教育環境の確保などを図る。			
事業概要	対象 (誰・何を対象に)	光ファイバを整備する電気通信事業者	対象者数 (全住民に対する割合) 771 世帯 ( 18 % )	
	実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 (委託先: ) <input checked="" type="checkbox"/> 補助金 [直接・間接] (補助先: 電気通信事業者 実施主体: NTT東日本 ) <input type="checkbox"/> 貸付 (貸付先: ) <input type="checkbox"/> その他 ( )		
	事業内容 (手段、手法など)	事業内容 (箇条書き)	事業費 活動指標	
		高度無線環境整備推進事業負担金	535,474 千円	利用回線420回線
		高速通信網整備事業負担金	128,371 千円	
	関連事業 (同一目的事業等)			
コスト	事業費	3年度以降 (計画)	2年度 (予算)	元年度決算
	事業費合計	千円	663,845 千円	千円
財源内訳	事業費内訳 (2年度分)	(補助対象分) 高度無線環境整備推進事業における光ファイバ整備費負担金 535,474千円 (交付金214,188千円、過疎債321,200千円、一般財源86千円) (補助対象外分) 事業実施に伴う事前設計費用及び設備の概算維持管理費用 250,575千円のうち 事業実施者であるNTT東日本と相応の負担割合で算出することとする。 (交付金128,371千円)		
	国道支出金	千円	342,559 千円	千円
	地方債	千円	321,200 千円	千円
	その他特財	千円		千円
	一般財源	千円	86 千円	千円
	財源合計	千円	663,845 千円	千円

事業シート (概要説明書)

事業名	新型コロナウイルス感染拡大に伴う子育て世帯支援事業	事業開始年度	令和2年度	
予算事業名	子育て支援事業	担当課名	子育て支援課	
総合計画事業名		担当係名	児童保育係	
総合計画基本構想		作成責任者	岡田 裕二	
実施の背景	新型コロナウイルス感染拡大に伴う経済対策として、国の特別給付金の対象外であった令和2年4月28日以降に生まれた子どもへの給付。また、保育施設・学校等への登校自粛や休校などで負担が増えた子育て中のひとり親世帯への支援を行う。			
目的 (何をどうしたいのか)	①国の特別給付金の対象外であった令和2年4月28日以降に生まれた子どもへの給付 ②児童扶養手当を受給しているひとり親世帯への支援			
事業概要	対象 (誰・何を対象に)	①令和2年4月28日以降に生まれた子ども ②児童扶養手当を受給しているひとり親世帯	対象者数 (全住民に対する割合) 140 人 ( 1.5 % )	
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 (委託先: ) <input type="checkbox"/> 補助金 [直接・間接] (補助先: 実施主体: ) <input type="checkbox"/> 貸付 (貸付先: ) <input type="checkbox"/> その他 ( )		
	事業内容 (手段、手法など)	事業内容 (箇条書き)	事業費 活動指標	
		子育て世帯支援給付金	6,800 千円	
	関連事業 (同一目的事業等)	1. 国の特別定額給付金 (総務省) 2. ひとり親世帯臨時特別給付金 (厚生労働省)		
コスト	事業費	3年度以降 (計画)	2年度 (予算)	元年度決算
	事業費内訳 (2年度分)	千円	6,800 千円	千円
財源内訳	国道支出金	千円	6,000 千円	千円
	地方債	千円	千円	千円
	その他特財	千円	千円	千円
	一般財源	千円	800 千円	千円
	財源合計	千円	6,800 千円	千円

事業シート（概要説明書）

事業名		保育施設給食調理室衛生対策事業		事業開始年度		令和2年度		
予算事業名		保育施設管理		担当課名		子育て支援課		
総合計画事業名				担当係名		児童保育		
総合計画基本構想				作成責任者		渋谷直親		
実施の背景		平成4年に建設された御影こども園の給食調理室においては手洗いの励行など衛生管理を徹底しているが、手洗い場には温水が出る設備がないため労働環境の改善を図る必要がある。						
目的 (何をどうしたいのか)		ウイルス防止の面からも手洗い場において温水が使用できる環境を整え、より安全に衛生を保てる調理室としたい。						
事業概要	対象 (誰・何を対象に)	給食調理員				対象者数（全住民に対する割合）		
						8	人（ <input type="text"/> %）	
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託（委託先： <input type="text"/> ） <input type="checkbox"/> 補助金〔直接・間接〕（補助先： <input type="text"/> 実施主体： <input type="text"/> ） <input type="checkbox"/> 貸付（貸付先： <input type="text"/> ） <input type="checkbox"/> その他（ <input type="text"/> ）						
		事業内容 (手段、手法など)	事業内容（箇条書き）		事業費		活動指標	
			御影こども園給食調理室手洗い設備改修工事		240千円			
			千円					
			千円					
関連事業 (同一目的事業等)								
コスト 事業費	3年度以降（計画）		2年度（予算）		元年度決算			
	事業費合計		千円	240千円	千円	千円	千円	
	事業費内訳 (2年度分)		給食調理室手洗い設備改修工事費用 @240千円×1箇所=240千円					
財源 内訳	国道支出金		千円	千円	千円	千円	千円	
	国道支出金の内容							
	地方債		千円	千円	千円	千円	千円	
	その他特財		千円	千円	千円	千円	千円	
	その他特財の内容							
一般財源		千円	240千円	千円	千円	千円		
財源合計		千円	240千円	千円	千円	千円		

事業シート (概要説明書)

事業名	インフルエンザ予防接種事業	事業開始年度	令和2年度		
予算事業名	保健予防事業	担当課名	保健福祉課		
総合計画事業名		担当係名	健康推進係		
総合計画基本構想		作成責任者	佐藤秀美		
実施の背景	新型コロナウイルスとインフルエンザは同時に感染することがあり、発熱患者がインフルエンザであったとしても、新型コロナウイルス感染の可能性がある前提で取り扱わなければならない、インフルエンザが流行すると医療現場は大混乱に陥る可能性がある。				
目的 (何をどうしたいのか)	インフルエンザが流行して医療現場や検査体制に大きな影響を与えないように、インフルエンザ予防接種が推奨されている。 重症化のリスクが高いといわれている高齢者の予防接種率を高めるため、65歳以上の予防接種費用について、現行1,500円の助成を本人負担なしの無料にする。高校生以下については、子育て支援策として既に無料化されているが、接種率が高まることが予想されることから予算を増額する。				
事業概要	対象 (誰・何を対象に)	町民	対象者数 (全住民に対する割合) 4,719 人 ( 51 % )		
	実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 (委託先: 町内の医療機関 ) <input type="checkbox"/> 補助金〔直接・間接〕 (補助先: 実施主体: ) <input type="checkbox"/> 貸付 (貸付先: ) <input type="checkbox"/> その他 ( )			
	事業内容 (手段、手法など)	事業内容 (箇条書き)	事業費 活動指標		
		チラシ折込手数料	34 千円		
		予防接種委託料	9,530 千円		
		(高齢者インフルエンザ予防接種 7,089千円)	千円	65歳以上 3,437人	
	(高校生以下インフルエンザ予防接種 2,441千円)	千円	高校生以下 1,282人		
		千円			
関連事業 (同一目的事業等)	平成元年度インフルエンザワクチン接種者 高齢者 1,653人 高校生以下 1,091人 (13歳未満2回接種者含む)				
コスト	事業費合計	3年度以降 (計画) 千円	2年度 (予算) 15,524 千円	うち9月補正額 9,564 千円	元年度決算 千円
	事業費内訳 (2年度分)	○インフルエンザ予防接種町内医療機関平均単価2,800円 ・高齢者: 2,800円×3,437人-既定予算2,535,000円=7,088,600円 ・高校生以下: (2,800円×813人×2回) + (2,800円×469人) - 既定予算3,425,000円 = 2,441,000円 ※13歳未満は2回接種、高齢者既定予算は1,500円×1,690人、高校生以下既定予算は1,250回分 ○チラシ折込手数料 (町民周知) 2.8円×3,620枚×1.1×3回=33,448円			
財源内訳	国庫支出金	千円	5,000 千円	5,000 千円	千円
	地方債	千円	千円	千円	千円
	その他特財	千円	3,400 千円	千円	千円
	一般財源	千円	7,124 千円	4,564 千円	千円
	財源合計	千円	15,524 千円	9,564 千円	千円

事業シート（概要説明書）

<b>事業名</b>		新型コロナウイルス感染症対策福祉・医療施設等従事者慰労金支給事業		<b>事業開始年度</b>		令和2年度	
<b>予算事業名</b>		保健予防事業		<b>担当課名</b>		保健福祉課	
<b>総合計画事業名</b>				<b>担当係名</b>			
<b>総合計画基本構想</b>				<b>作成責任者</b>		佐藤秀美	
<b>実施の背景</b>		福祉施設及び医療機関の従事者は、新型コロナウイルス感染症の拡大防止・収束に向けてウイルスに立ち向かい、感染すると重症化するリスクが高い利用者や患者との接触が伴うこと、継続して提供することが必要な業務であること、集団感染の発生状況を踏まえ、相当程度心身に負担がかかる中、強い使命感を持って業務に従事している。					
<b>目的</b> (何をどうしたいのか)		町内の福祉施設及び医療機関に勤務し、日頃から感染防止に努めながら利用者や患者と接する従事者に対して、慰労金として2万円を支給する。					
<b>事業概要</b>	<b>対象</b> (誰・何を対象に)	町内の福祉施設（介護・障がい施設）及び医療機関の従事者				<b>対象者数（全住民に対する割合）</b>	
						約700	人（ <input type="text"/> %）
	<b>実施方法</b>	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託（委託先： <input type="text"/> ） <input type="checkbox"/> 補助金〔直接・間接〕（補助先： <input type="text"/> 実施主体： <input type="text"/> ） <input type="checkbox"/> 貸付（貸付先： <input type="text"/> ） <input type="checkbox"/> その他（ <input type="text"/> ）					
	<b>事業内容</b> (手段、手法など)	<b>事業内容（箇条書き）</b>		<b>事業費</b>		<b>活動指標</b>	
		福祉施設・医療機関従事者慰労金支給		14,000	千円		
					千円		
				千円			
				千円			
				千円			
				千円			
	<b>関連事業</b> (同一目的事業等)	新型コロナウイルス感染症緊急包括支援事業（事業主体は都道府県） ◇従事者慰労金交付事業 交付額：20万円（感染者と接触）、10万円（指定医療機関で感染者と未接触）、5万（その他）					
<b>コスト</b>	<b>事業費合計</b>	3年度以降（計画）		2年度（予算）		元年度決算	
			千円	14,000	千円	千円	千円
	<b>事業費内訳</b> (2年度分)	20千円×700人=14,000千円 ※従事者数は、各事業者に北海道の従事者慰労金交付金事業の申請予定者数を聞き取り（15事業者 639人）					
<b>財源内訳</b>	<b>国庫支出金</b>		千円	14,000	千円	千円	千円
		国庫支出金の内容 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金					
	<b>地方債</b>		千円		千円	千円	千円
	<b>その他特財</b>		千円		千円	千円	千円
		その他特財の内容					
	<b>一般財源</b>		千円	0	千円	千円	千円
	<b>財源合計</b>		千円	14,000	千円	千円	千円



事業シート (概要説明書)

事業名	中小企業緊急支援事業 (追加不足分)		事業開始年度	令和2年度		
予算事業名	商工振興事業		担当課名	商工観光課		
総合計画事業名			担当係名	商工労政係		
総合計画基本構想			作成責任者	高橋 英二		
実施の背景	新型コロナウイルス感染症の影響により、消費が大きく落ち込み町の経済に大きな影響をもたらしている。					
目的 (何をどうしたいのか)	新型コロナウイルス感染症による影響で売上げが特に減少した町内の中小企業者に対して、緊急支援給付金を交付することにより、事業の持続と雇用の確保を図る。 緊急支援事業給付金については、5月の補正予算により令和2年3月及び4月の売上げ額が前年同2か月間の合計売上額と比較して20%以上減少した者に対して給付金を交付した。 今回はその追加措置として対象期間を令和2年3月から6月までの連続する2か月間に拡大し、それにより新たに交付要件を満たす事業者への給付及び先に給付した額より増える事業者については差引不足額を再給付する。					
事業概要	対象 (誰・何を対象に)	町内中小企業者		対象者数 (全住民に対する割合)		
				人	(	% )
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 (委託先: ) <input type="checkbox"/> 補助金 [直接・間接] (補助先: 実施主体: ) <input type="checkbox"/> 貸付 (貸付先: ) <input type="checkbox"/> その他 ( )				
	事業内容 (手段、手法など)	事業内容 (箇条書き)	事業費	活動指標		
		給付金 (既定予算 60,000千円)		千円		
	チラシ折込手数料 (9月補正額)	11	千円			
			千円			
			千円			
			千円			
	関連事業 (同一目的事業等)					
コスト		3年度以降 (計画)	2年度 (予算)	うち9月補正額	元年度決算	
	事業費合計	千円	60,022 千円	11 千円	千円	
	事業費内訳 (2年度分)	◇既定予算額 給付金 60,000千円、チラシ折込手数料 (制度周知) 11千円 ◇緊急支援給付金終了確定分93件 (3月・4月対象) 24,394千円 ◇再給付見込額 30件 (差額が生じた件数) × 100千円 (平均差額) = 3,000千円 20件 (差額が生じた件数) × 200千円 (平均差額) = 4,000千円 10件 (新規) × 300千円 = 3,000千円 チラシ折込手数料 (制度周知) 11千円 (9月増額補正)				
財源内訳	国道支出金	千円	32,000 千円	32,000 千円	千円	
		国道支出金の内容 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金				
	地方債	千円	千円	千円	千円	
	その他特財	千円	千円	千円	千円	
		その他特財の内容				
	一般財源	千円	28,022 千円	-31,989 千円	千円	
	財源合計	千円	60,022 千円	11 千円	千円	

事業シート (概要説明書)

事業名	中小企業近代化資金特例貸付事業	事業開始年度	令和2年度		
予算事業名	商工振興事業	担当課名	商工観光課		
総合計画事業名		担当係名	商工労政係		
総合計画基本構想		作成責任者	高橋 英二		
実施の背景	新型コロナウイルス感染症の影響により、消費が大きく落ち込み中小企業の収益に大きな影響をもたらしている。				
目的 (何をどうしたいのか)	新型コロナウイルス感染症により、影響を受けた事業者（売上高が前年同月比5%以上減少）に対して清水町中小企業近代化資金の特例貸付を行い、町内の商工業者の安定した事業運営の継続を図る。 これまで、貸付総額3億円として利息等の補助を行ってきたが、申請者が増加していることから更に1億円の貸付枠を追加し、保証料及び利息の金額を補正する。				
事業概要	対象 (誰・何を対象に)	町内中小企業者	対象者数 (全住民に対する割合) 人 ( 100 % )		
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 (委託先: ) <input type="checkbox"/> 補助金〔直接・間接〕 (補助先: 実施主体: ) <input type="checkbox"/> 貸付 (貸付先: ) <input type="checkbox"/> その他 ( )			
		事業内容 (手段、手法など)	事業内容 (箇条書き)	事業費	
			貸付枠1億円増額することに対する保証料及び利息相当分の補助	4,800 千円	
	関連事業 (同一目的事業等)	清水町中小企業特別利子等補助事業			
	コスト	事業費合計	3年度以降 (計画)	2年度 (予算)	うち9月補正額
事業費内訳 (2年度分)		千円	21,200 千円	4,800 千円	千円
財源内訳	国道支出金	千円	20,000 千円	20,000 千円	千円
	地方債	千円	千円	千円	千円
	その他特財	千円	千円	千円	千円
	一般財源	千円	1,200 千円	-15,200 千円	千円
	財源合計	千円	21,200 千円	4,800 千円	千円

事業シート (概要説明書)

事業名	清水町中小企業特別利子等補助事業			事業開始年度	令和2年度				
予算事業名	商工振興事業			担当課名	商工観光課				
総合計画事業名				担当係名	商工労政係				
総合計画基本構想				作成責任者	角谷 貴良				
実施の背景	新型コロナウイルス感染症の影響により、消費が大きく落ち込み町内中小企業等の経営を圧迫している。								
目的 (何をどうしたいのか)	新型コロナウイルスの影響を受け、業績が悪化した中小企業者が金融機関等から融資を受けた制度資金に対する保証料・利子補給を行う。ただし、国・道・政策金融公庫等から保証料・利子補給等を受けた場合はその額を除くものとする。 保証料及び利子補給金の範囲は融資額30,000千円を上限とするが、シート番号09中小企業近代化資金特例貸付事業のコロナ対応分の融資を受けている場合はその融資額を差し引いた額を上限とする。 また、利子補給期間は据え置き期間を含めて10年とする								
事業概要	対象 (誰・何を対象に)	町内中小企業者				対象者数 (全住民に対する割合)			
						人	(	100	%)
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 (委託先: ) <input type="checkbox"/> 補助金〔直接・間接〕 (補助先: 実施主体: ) <input type="checkbox"/> 貸付 (貸付先: ) <input type="checkbox"/> その他 ( )							
		事業内容 (手段、手法など)	事業内容 (箇条書き)		事業費		活動指標		
			国・道・政策金融公庫等の制度資金利用者において、保証料及び利子補給の自己負担分を補給。		4,000	千円			
				千円					
				千円					
関連事業 (同一目的事業等)	中小企業近代化資金特例貸付事業								
コスト	3年度以降 (計画)		2年度 (予算)		元年度決算				
	事業費合計	千円	4,000	千円	千円	千円	千円		
事業費内訳 (2年度分)	清水町中小企業特別利子等補助金 ・保証料: 3,500千円 (貸付総額8,500万円) ・利子補給: 500千円 (20件分)								
財源内訳	国道支出金	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
	国道支出金の内容								
	地方債	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
	その他特財	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
	その他特財の内容								
一般財源	千円	4,000	千円	千円	千円	千円	千円		
財源合計	千円	4,000	千円	千円	千円	千円	千円		

事業シート（概要説明書）

<b>事業名</b>		地域活性化商品券事業（新型コロナウイルス経済対策分）		<b>事業開始年度</b>	令和2年度			
<b>予算事業名</b>		商工振興事業		<b>担当課名</b>	商工観光課			
<b>総合計画事業名</b>				<b>担当係名</b>	商工労政係			
<b>総合計画基本構想</b>				<b>作成責任者</b>	高橋 英二			
<b>実施の背景</b>		新型コロナウイルス感染症の影響により、消費が大きく落ち込み町の経済に大きな影響をもたらしている。						
<b>目的</b> (何をどうしたいのか)		新型コロナウイルス感染症により、減速した町の経済を立て直すために、プレミアム率をアップした商品券の販売や飲食店に特化した共同販売促進の事業を行うことにより、町民の町内における積極的な個人消費喚起を行い、町内の商工業者に対して、悪化した経済基盤の立て直しを図ることを目的とする。						
<b>事業概要</b>	<b>対象</b> (誰・何を対象に)	町民			<b>対象者数（全住民に対する割合）</b>			
					9,320	人	( 100 % )	
	<b>実施方法</b>	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託（委託先： ） <input checked="" type="checkbox"/> 補助金〔直接・間接〕（補助先： 商工会 実施主体： ） <input type="checkbox"/> 貸付（貸付先： ） <input type="checkbox"/> その他（ ）						
	<b>事業内容</b> (手段、手法など)	<b>事業内容（箇条書き）</b>		<b>事業費</b>		<b>活動指標</b>		
		地域活性化生活応援商品券事業 ※10,000組 プレミアム率30%、チラシ印刷等事務費含む		24,000	千円			
					千円			
				千円				
				千円				
				千円				
				千円				
	<b>関連事業</b> (同一目的事業等)							
<b>コスト</b>		3年度以降（計画）		2年度（予算）		うち9月補正額		元年度決算
	<b>事業費合計</b>	千円	69,537	千円	24,000	千円	千円	
	<b>事業費内訳</b> (2年度分)	地域活性化商品券事業補助金 地域活性化生活応援商品券 ・ 1組（500円×26枚）13千円を10千円で10千組を販売する。 ※大型店でも使用できるが、内13枚は小規模事業者専用券とする。 ・ 1世帯当たり販売限度額20万円分。 ◇地域活性化商品券事業総額 32,070千円－既定予算額 8,070千円 =今回補正額 24,000千円						
<b>財源</b> <b>内訳</b>	<b>国道支出金</b>	千円	69,000	千円	69,000	千円	千円	
	<b>地方債</b>	千円		千円		千円	千円	
	<b>その他特財</b>	千円		千円		千円	千円	
	<b>一般財源</b>	千円	537	千円	-45,000	千円	千円	
	<b>財源合計</b>	千円	69,537	千円	24,000	千円	千円	

事業シート (概要説明書)

事業名	清水町小規模事業者感染症予防対策給付事業	事業開始年度	令和2年度	
予算事業名	商工振興事業	担当課名	商工観光課	
総合計画事業名		担当係名	商工労政係	
総合計画基本構想		作成責任者	高橋 英二	
実施の背景	新型コロナウイルス感染症の影響により、消費が大きく落ち込み町の経済に大きな影響をもたらしており、新生活スタイルに向けた対応が必要となっている。			
目的 (何をどうしたいのか)	新型コロナウイルスの影響を受けながら国の「小規模事業者持続化補助金」を活用して感染症対策の設備等導入に取り組む町内の小規模事業者に対して国庫補助申請額に対する自己負担分について給付する。			
事業概要	対象 (誰・何を対象に)	小規模事業者持続化補助金申請事業者	対象者数 (全住民に対する割合) 人 ( ) % )	
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 (委託先: ) <input type="checkbox"/> 補助金〔直接・間接〕 (補助先: 実施主体: ) <input type="checkbox"/> 貸付 (貸付先: ) <input type="checkbox"/> その他 ( )		
		事業内容 (手段、手法など)	事業内容 (箇条書き)	事業費
			小規模事業者感染症予防対策事業給付金	2,050 千円
				千円
	千円			
関連事業 (同一目的事業等)	小規模事業者持続化補助金 (経済産業省)			
コスト	3年度以降 (計画)	2年度 (予算)	元年度決算	
	事業費合計	千円	2,050 千円	千円
	事業費内訳 (2年度分)	清水町小規模事業者感染症予防対策事業給付金 ①一般型 600千円×1/3×8件=1,600千円 ②コロナ対応型 (A型) 600千円×3/12×2件=300千円 ③コロナ対応型 (B型) 600千円×1/4=150千円  (給付対象経費) ・機械装置等費～新型コロナウイルス飛沫感染防止シールド、空気清浄クリーナー、噴霧器等 ・外注費～店内改装費 (非対面) 等 ・設備処分費		
財源内訳	国道支出金	千円	千円	千円
	国道支出金の内容			
	地方債	千円	千円	千円
	その他特財	千円	千円	千円
	その他特財の内容			
一般財源	千円	2,050 千円	千円	
財源合計	千円	2,050 千円	千円	

事業シート (概要説明書)

事業名	小中学校用モバイルWi-Fi端末貸出事業	事業開始年度	令和2年度		
予算事業名	コンピュータ教育事業	担当課名	学校教育課		
総合計画事業名		担当係名	総務係		
総合計画基本構想		作成責任者	黒井 良		
実施の背景	「GIGAスクール構想」により、2022年までに1人1台端末を整備する計画であったが、新型コロナウイルス感染拡大による緊急事態宣言を受け、2020年度中に1人1台の端末整備と、自宅で端末を利用してオンライン学習等ができる環境整備をするよう文部科学省から通達があり、児童・生徒全員が自宅でWi-Fiを使える環境を整備するため、現状でWi-Fi環境がない家庭について、モバイルWi-Fiを貸し出しするものである。				
目的 (何をどうしたいのか)	Wi-Fi環境がない家庭に、モバイルWi-Fiを貸し出しする。				
事業概要	対象 (誰・何を対象に)	小中学校児童生徒	対象者数 (全住民に対する割合) 658 人 ( 7 % )		
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 (委託先: ) <input type="checkbox"/> 補助金〔直接・間接〕 (補助先: 実施主体: ) <input type="checkbox"/> 貸付 (貸付先: ) <input type="checkbox"/> その他 ( )			
		事業内容 (手段、手法など)	事業内容 (簡条書き)	事業費	活動指標
			小中学校用モバイルWi-Fi端末貸出事業	473 千円	
			千円		
			千円		
関連事業 (同一目的事業等)					
コスト	3年度以降 (計画)	2年度 (予算)	元年度決算		
	事業費合計	2,057 千円	473 千円	0 千円	
	事業費内訳 (2年度分)	令和2年度 モバイルWi-Fi端末レンタル50台 (3ヶ月分) 116千円 初期登録手数料 275千円 月額基本料金 (500MB以下) (3ヶ月分) 83千円  令和3年度 モバイルWi-Fi端末レンタル 1年分 440千円 月額基本料金 (500MB以下) 1年分 330千円 従量通信料金 (10GB以下) 使用量超過分 6ヶ月分 1287千円			
財源 内訳	国庫支出金	千円	千円	千円	千円
	国庫支出金の内容				
	地方債	千円	千円	千円	千円
	その他特財	千円	千円	千円	千円
	その他特財の内容				
一般財源	2,057 千円	473 千円	千円	千円	千円
財源合計	2,057 千円	473 千円	千円	千円	千円

事業シート (概要説明書)

<b>事業名</b>		学校再開に伴う感染症対策・学習保障に係る支援事業		<b>事業開始年度</b>		令和2年度				
<b>予算事業名</b>		小学校運営・中学校運営		<b>担当課名</b>		学校教育課				
<b>総合計画事業名</b>				<b>担当係名</b>		学校教育係				
<b>総合計画基本構想</b>				<b>作成責任者</b>		吉田寛臣				
<b>実施の背景</b>		新型コロナウイルス感染症については長期的な対応が求められることが見込まれるところであるが、こうした中でも持続的に児童生徒の教育を受ける権利を保障していくため、学校における感染及びその拡大のリスクを可能な限り低減した上で、学校運営を継続していく必要がある。								
<b>目的</b> (何をどうしたいのか)		学校再開等にあたり集団感染のリスクを避け、児童生徒が安心して学ぶことができる体制の整備を促進するため、マスク・消毒液他保健衛生用品等の整備を行う。また、家庭における学習のために用いる教材の購入等児童生徒の学びの確実な定着を図るために必要な整備を行う。								
<b>事業概要</b>	<b>対象</b> (誰・何を対象に)		町内各小中学校 (4校)			<b>対象者数 (全住民に対する割合)</b>				
						658 人 ( 7 % )				
	<b>実施方法</b>		<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 (委託先: ) <input type="checkbox"/> 補助金〔直接・間接〕 (補助先: 実施主体: ) <input type="checkbox"/> 貸付 (貸付先: ) <input type="checkbox"/> その他 ( )							
	<b>事業内容</b> (手段、手法など)		<b>事業内容 (箇条書き)</b>		<b>事業費</b>		<b>活動指標</b>			
			感染症対策・学習保障に係る整備経費		4,924 千円		整備率			
			(消毒液、マスク等、教材購入経費他)							
<b>関連事業</b> (同一目的事業等)		なし								
<b>コスト</b>	<b>事業費合計</b>		3年度以降 (計画)		2年度 (予算)		うち9月補正額		元年度決算	
			3,476 千円		9,224 千円		4,924 千円		0 千円	
	<b>事業費内訳</b> (2年度分)		(小学校分) 感染症対策消耗品 パーテーション等 25千円 リモート授業用プロジェクター 196千円 オゾン発生装置、体温検知器等 2,066千円 (中学校分) リモート用ビデオビデオ編集ソフト他消耗品 72千円 リモート授業用プロジェクター 296千円 オゾン発生装置、体温検知器等 2,269千円							
<b>財源</b> <b>内訳</b>	<b>国庫支出金</b>				4,611 千円		4,611 千円			
			千円		千円		千円		千円	
	<b>地方債</b>									
			千円		千円		千円		千円	
	<b>その他特財</b>									
		千円		千円		千円		千円		
<b>一般財源</b>		3,476 千円		4,613 千円		313 千円				
<b>財源合計</b>		3,476 千円		9,224 千円		4,924 千円				
		千円		千円		千円		千円		

事業シート (概要説明書)

事業名	中央公民館会議用機器等整備事業	事業開始年度	令和2年度	
予算事業名	中央公民館施設管理	担当課名	社会教育課	
総合計画事業名		担当係名	社会教育係	
総合計画基本構想		作成責任者	課長 藤田哲也	
実施の背景	新型コロナウイルス感染症の世界的・全国的な拡大により、本町においても感染予防対策が重要となっている。			
目的 (何をどうしたいのか)	中央公民館(大集会室、会議室2、会議室3)において、ネットワーク機器とインターネット用ケーブルの敷設を行い、オンライン会議等に対応した環境を整備する。 また、各種会議においてマイクを回して使用する機会を減らしたり、参加者同士の距離を保ちながら会議が進行できるようワイヤレスマイクの増設や集音型マイク等の整備を行い、安心して利用できる環境を整備する。			
事業概要	対象 (誰・何を対象に)	町民	対象者数(全住民に対する割合) 9,320 人 ( 100 % )	
	実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 (委託先: ) <input type="checkbox"/> 補助金〔直接・間接〕(補助先: 実施主体: ) <input type="checkbox"/> 貸付(貸付先: ) <input type="checkbox"/> その他( )		
	事業内容 (手段、手法など)	事業内容(箇条書き)	事業費	活動指標
		無線アクセスポイント整備業務委託	752 千円	
		中央公民館用備品	447 千円	
			千円	
関連事業 (同一目的事業等)				
コスト 事業費	3年度以降(計画)	2年度(予算)	元年度決算	
	事業費合計	千円	1,199 千円	千円
財源 内訳	事業費内訳 (2年度分)	・無線アクセスポイント整備業務委託 ネットワーク機器設置・設定及びケーブル敷設業務委託 752千円 ・中央公民館用備品 ワイヤレスマイク4本 172千円 集音コンデンサーマイク6本、アンプ1台他 275千円		
	国道支出金	千円	千円	千円
財源 内訳	国道支出金の内容			
	地方債	千円	千円	千円
	その他特財	千円	千円	千円
	その他特財の内容			
	一般財源	千円	1,199 千円	千円
財源合計	千円	1,199 千円	千円	



事業シート (概要説明書)

事業名	学校給食センター衛生対策事業		事業開始年度	令和2年度			
予算事業名	給食センター施設維持管理事業		担当課名	学校教育課			
総合計画事業名			担当係名	給食センター			
総合計画基本構想			作成責任者	西田史明			
実施の背景	平成9年の建設から23年が経過し、厨房床の部分修繕は行っているが床面の割れやヒビなどが随所にある水分が残りカビや細菌の発生等衛生的な問題や、給食を配送するコンテナの出入口でコンテナの消毒ができるよう保健所より指摘されていることから、今回、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から衛生管理が徹底されるよう改修し、給食調理の衛生環境を保つものである。						
目的 (何をどうしたいのか)	給食調理の衛生環境改善を図り、安心して安全な給食を提供する。						
事業概要	対象 (誰・何を対象に)	幼稚園、小中学校生徒児童			対象者数 (全住民に対する割合)		
					800	人 ( 9 % )	
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 (委託先: ) <input type="checkbox"/> 補助金〔直接・間接〕 (補助先: 実施主体: ) <input type="checkbox"/> 貸付 (貸付先: ) <input type="checkbox"/> その他 ( )					
		事業内容 (手段、手法など)	事業内容 (箇条書き)		事業費		活動指標
			給食センター厨房内床改修工事		5,941	千円	
給食コンテナ消毒設備新設等工事			1,980	千円			
				千円			
				千円			
				千円			
関連事業 (同一目的事業等)							
コスト	3年度以降 (計画)		2年度 (予算)		元年度決算		
	事業費合計	千円	7,921	千円	千円	千円	
	事業費内訳 (2年度分)	厨房内床改修工事 5,941千円 (下地処理、2液エポキシ樹脂塗床、防滑仕上げ) 253㎡ 給食コンテナ消毒設備新設等工事 1,980千円 (コンクリート下地改修、消毒槽設置、マット等新設、消毒液添加装置等)					
財源 内訳	国道支出金	千円	7,000	千円	千円	千円	
	国道支出金の内容		新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金				
	地方債	千円		千円	千円	千円	
	その他特財	千円		千円	千円	千円	
	その他特財の内容						
一般財源	千円	921	千円	千円	千円		
財源合計	千円	7,921	千円	千円	千円		